

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

(様式例1)

※太枠は、年度当初に「運営に関する計画」として記述する部分  
※それ以外は、年度末に学校園の「自己評価」として記述する部分

大阪市立〇〇小学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

### 1 学校運営の中期目標

#### 【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」などの結果から、卒業までに基礎的・基本的な学習内容が定着したと認められる児童の割合を、平成24年度の水準より増やす。(カリキュラム改革関連)
- 児童や保護者アンケートの結果から、自主学習習慣が定着している児童の割合を、平成24年度

#### 【視点 道

#### ○学校の

・概ね3年以内に「何をどのような状態にするのか」について記述します。  
・「どのような状態」は、全国調査や児童生徒・保護者アンケートなど定期的・客観的に測定できるデータを用いて、数値などで具体的に目標水準を記述します。  
・目標ごとに、関連する視点を【 】内に、改革の方向性を( )内に記述します。  
※視点…「学力の向上」「道徳心・社会性の育成」「健康・体力の保持増進」ほか  
※改革の方向性…「カリキュラム改革」「グローバル化改革」「マネジメント改革」「ガバナンス改革」「学校サポート改革」

### 2 中期目標の達成に向けた年度目標

#### 【視点 学力の向上】

- ①「平成26年度全国学力・学習状況調査」の結果で、特に課題である「国語・B問題」の無解答率を平成24年度結果より減らす。(カリキュラム改革関連)
- ②3学期の児童アンケートで「家で、学校の授業の復習をしている。」と答える児童の割合を、各学

#### 【視点

・中期目標の達成に向け、当該年度で「何をどのような状態にするのか」について記述します。  
・「どのような状態」は、全国調査や児童生徒・保護者アンケートなど定期的・客観的に測定できるデータを用いて、数値などで具体的に目標水準を記述します。  
・目標ごとに、関連する視点を【 】内に、改革の方向性を( )内に記述します。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

1年間の総括を次の視点で記述します。

(視点)

- ・学校運営の全体を通じて、どのような成果があったか。
- ・項目や取組の重点の置き方は適切だったか。
- ・目標を達成できなかった項目は、どのような課題があったか。
- ・成果を伸ばし課題を改善するために、次年度はどのように取り組むのか。

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

(様式例2)

※太枠は、年度当初に「運営に関する計画」として記述する部分  
 ※それ以外は、年度末に学校園の「自己評価」として記述する部分

大阪市立〇〇小学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
 C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	目標の達成状況を4段階で総合的に評価します。	達成状況
<b>【視点 学力の向上】</b> ①「平成26年度全国学力・学習状況調査」の結果で、特に課題である国語・B問題の無解答率を平成24年度結果より減らす。(カリキュラム改革関連) ②3学期の	・総括シートの「年度目標」を転記してください。 ・関連する複数の年度目標をまとめて記載してもさしつかえありません。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	取組ごとの進捗状況を4段階でそれぞれ評価します。	進捗状況
<b>取組内容①【区分 言語力や論理的思考能力の育成】</b> 読解・記述・コミュニケーションに関する言語活動に、実施計画に基づき、各教科の学習活動	・年度目標の達成に向け、当該年度で「何に、どのように取り組むのか」を記述します。 ・区分欄に、資料〇に基づき、取組の見出しを記入します。 ・取組は重点的に取り組むものから記述し、優先順位がわかるようにします。	A
<b>指標</b> 言語活動の取組を、全ての教科で実施計画どおりに実践する。		
<b>取組内容②【</b>	・この取組は当該年度で「どれだけ取り組むのか」について記述します。 ・「どれだけ」は、回数や頻度、人数など具体的に記述します。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
・まず、年度目標の達成状況を数値などにより具体的に記述します。 ・次に、取組の進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などについて記述します。

次年度への改善点
・まず、年度目標のうち未達成のものについて、次年度はどのように取り組むのか記述します。 ・次に、課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述します。